

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	総事業費(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	実施状況 (実績概要)	成果等
				うち交付金 充当経費(円)				
1	新型コロナウイルス感染症拡大防止支援事業(マスク等購入)	①新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがたっておらず、現在の感染経路として家庭内感染・学校内感染が多く発生しているため、児童生徒・園児及び職員のにマスク等を配布し感染拡大防止対策を実施する。 ②マスク購入に係る経費	919,096	919,096	R4.6.16	R5.3.31	児童生徒及び園児・職員へマスクの配布を行った。 マスク、消毒液、ペーパータオル	マスクの配布や衛生資材を購入し、感染防止対策が図りながら学校運営を行う事ができた。
2	新型コロナウイルス感染症拡大防止支援事業(備品購入)	①新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがついておらず、こども園内での感染を防ぐため、給食時における園児の蜜を避けるため導入 ②折り畳み式パイプテーブル購入に係る経費	85,470	85,470	R4.6.16	R5.3.31	給食用の折り畳み式パイプテーブルを購入した。 折り畳み式パイプテーブル3台	こども園での給食時に、折り畳みテーブルを配置することにより子供たちを分散させることが可能となり、感染拡大防止対策を図ることができた。
3	物価高騰における学校給食費補助事業	①新型コロナウイルス感染症の影響の長期化による、物価高騰に伴う保護者等の負担軽減を図るため、高騰する食材費等の増額分の負担分の支援及び地元農家との持続的関係形成の為の積極的な地場産物購入費用。 ②賄材料費に係る経費	1,000,104	1,000,104	R4.6.16	R5.3.31	高騰する食材費等の増額分の負担分の支援及び地元農家との持続的関係形成の為の積極的な地場産物購入を行った。	原油高騰・物価高騰等の影響により食材費等が高騰する中、高騰した食材の増額分を各世帯に負担させることなく、これまで同様の給食を提供する事ができ、経済的な負担軽減を図ることができた。
4	学校備蓄用非常食購入	①新型コロナウイルス感染症のクラスター発生による給食センター稼働停止時等の、小中学校の全生徒及び職員用の備蓄用非常食の購入。 ②非常食購入に係る経費	332,999	332,999	R4.6.16	R5.3.31	小中学校の全生徒及び職員用の備蓄用非常食の購入を行った。 非常食パン288食、救給カレー620食、救給コーンポタージュ240食	新型コロナウイルス感染症の影響により、給食センター内でクラスターが発生した際の稼働停止時を想定し、非常食を備蓄することにより、通常通りの学校運営を行う環境整備が図られた。
5	学校給食センター機器等整備事業	①新型コロナウイルスを調理場内に持ち込ませない対策として、調理場内の徹底的な衛生環境を整える為、必要な備品関連商品を購入する。 ②消毒保管庫、冷蔵冷凍庫、調理器具購入に係る経費	3,249,510	3,249,510	R4.6.16	R5.3.31	調理場内の徹底的な衛生環境を整える為の機器を購入した。 消毒保管庫1台、冷蔵冷凍庫1台、調理器具	給食センター内に消毒保管庫、冷蔵冷凍庫等を設置することにより、衛生管理面での環境整備が強化され、施設内での感染拡大防止対策を図ることができた。
6	地域経済回復支援事業(R3予算分)	①新型コロナウイルス感染拡大防止行動により低迷した村内経済の需要喚起を促進する為に地域振興券を配布する。 ②地域振興券 一人当たり 10,000円分の発行 【500円×20枚(内2枚=飲食業分)】	48,509,000	48,509,000	R4.6.16	R5.3.31	新型コロナウイルス感染拡大防止行動により低迷した村内経済の需要喚起を促進する為に地域振興券を配布した。 地域振興券配布枚数:64,680枚 実際使用された枚数:62,100枚	地域振興券を積極的に使用を促すことが出来、村内経済の回復、循環を促進できた。
8	村立診療所抗原検査等診療体制確保事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、委託先の村立診療所で看護師を新たに配置し、PCR検査・抗原検査等の体制を確保する。 ②看護師の給料等 ③看護師 220,000円/月×12か月	3,481,999	3,481,999	R4.4.1	R5.3.31	抗原検査等の体制強化のため看護師の配置を行った。 看護師の配置:1名(4月～3月)	PCR検査、抗原検査受診者対応のため、新たに看護師を配置することにより、検査体制の強化が図られ、円滑な検査対応に繋げる事ができた。 検査受診者:3,492人
9	税金出納機導入事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、庁舎に公金収納機を設置し、税や公共料金支払いに係る対面による接触機会を軽減するため、収納機を導入する。 ②税金出納機購入に係る経費	6,813,187	6,813,187	R4.9.22	R5.3.31	税や公共料金支払いに係る対面による接触機会を軽減するため、収納機を導入した。 税金出納機器1台	庁舎に公金収納機を設置することで、来客との対面での接触機会を軽減する事ができ、感染拡大防止対策を図ることができた。
10	放課後児童クラブ屋外設備整備事業	①村内の放課後児童クラブにおいて、児童は主に施設内の多目的スペースを利用しているが、人数が多い場合には密な状況での保育となる。感染がさらに拡大した場合には、利用制限を検討する可能性をあり、保護者にとって不利益を与える恐れもある。新型コロナウイルス感染症対策として、屋外に雨天等でも利用できるテラス・ウッドデッキを設け、児童を分散させて対策を図る。 ②テラス・ウッドデッキ整備に係る経費	935,000	935,000	R4.9.22	R5.3.31	児童を分散させて目的で、屋外にウッドデッキの整備を行った。 放課後児童クラブデッキ設置工事	新型コロナウイルス感染防止に伴う三密解消に向け、屋外にウッドデッキスペースを整備することで、子供達の遊ぶ場所を分散することが可能となり、感染防止対策の強化を図ることができた。

11	漁業者経営体力再生事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響による漁業利益の減少や、原油価格の高騰等により漁業者の経営を圧迫している。 村内漁業者の経営体力の再生・強化を図るため、支援を行う。 ②燃料、水等購入に係る経費	608,000	608,000	R4.9.22	R5.3.31	漁業者の経営体力の再生を図るため、燃料、水等購入費に対する補助を行った。 補助給付:6名	原油高騰・物価高騰等の影響により、経営に苦慮する漁業者に対し、漁業に必要な燃料物資に対する補助金を給付し、持続的な漁業経営の促進を図ることができた。
12	こども園非常食購入事業	①こども園の調理職員がコロナウイルスに感染し、調理場が稼働停止になった際に、各家庭から弁当を持参させなければいけないことから、コロナ禍における対策として、3日分程の備蓄用非常食を購入し保護者の負担軽減を図りたい。また、調理場稼働停止時には、皿などの洗い物もできないことから、使い捨て容器等の購入も行う。 ②皿などの消耗品、非常食購入に係る経費	418,404	418,404	R4.10.21	R5.3.31	こども園の全園児及び職員用の備蓄用非常食の購入を行った。 非常食 五目ご飯100食、ひじきご飯100食、カレー150食、豚汁150食、サツマイモのレモン煮100食、野菜スープ140食、クッキー200食、パン100食	新型コロナウイルス感染症の影響により、こども園内でクラスターが発生した際の調理室稼働停止時を想定し、非常食を備蓄することにより、通常通りのこども園の運営を行う環境整備が図られた。
13	地域経済回復支援事業(R4予算分)	①新型コロナウイルス感染拡大防止行動により低迷した村内経済の需要喚起を促進する為に地域振興券を配布する。 ②地域振興券 一人当たり 10,000円分の発行 【500円×20枚(内2枚=飲食業分)】	12,683,406	12,683,406	R4.6.16	R5.3.31	新型コロナウイルス感染拡大防止行動により低迷した村内経済の需要喚起を促進する為に地域振興券を配布した。 地域振興券配布枚数:64,680枚 実際使用された枚数:62,100枚	地域振興券を積極的に使用を促すことが出来、村内経済の回復、循環を促進できた。